

## 第12回機関リポジトリ推進委員会議事要旨

1. 日時：平成28年10月21日（金）9:30～12:00

2. 場所：国立情報学研究所19階会議室

3. 出席者：

（委員）

富田 健市	北海道大学附属図書館 事務部長
江川 和子	筑波大学学術情報部 部長
尾城 孝一	東京大学附属図書館 事務部長
高橋 菜奈子	千葉大学附属図書館学術コンテンツ課長
森 一郎	新潟大学 学術情報部 学術情報管理課長
島 文子	京都大学附属図書館 図書館企画課長
池田 大輔*	九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授
大野 利彦	神戸外国語大学学術情報センター グループ長
菊池 亮一	明治大学 学術・社会連携部・部長
佐藤 翔*	同志社大学免許資格課程センター 助教
山地 一禎	国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター(コンテンツ科学研究系) 准教授/学術リポジトリ推進室長
細川 聖二	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 課長
吉田 幸苗	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 副課長

\*池田委員、佐藤委員についてはTV会議参加

（陪席）

酒井 清彦 国立情報学研究所 学術基盤推進部 次長

（事務局）

田口 忠祐 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 係長  
増山 廣美 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 事務補佐員

（欠席）

山本 和雄 琉球大学附属図書館 事務部長  
安本 裕和 関西学院大学図書館 事務部長

<配付資料>

第12回機関リポジトリ推進委員会出席者名簿

- 1-1. 第11回機関リポジトリ推進委員会議事要旨
- 1-2. メール審議（平成28年5月14日以降）結果（報告）
- 2-1. 第12回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（報告）
- 2-2. 平成28年度機関リポジトリ推進委員会作業部会、タスクフォース活動計画（案）
- 2-3. オープンアクセスリポジトリ推進協会参加申込状況
- 3-1. オープンアクセスリポジトリ推進協会設立総会議事要旨
- 3-2. オープンアクセスリポジトリ推進協会会則の修正について

- 3-3. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程の修正について
- 3-4. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程の修正について
- 3-5-1. オープンアクセスリポジトリ推進協会の運用に関する検討事項
- 3-5-2. オープンアクセスリポジトリ推進協会構成員数の調査時期について
- 3-6-1. オープンアクセスリポジトリ推進協会入会申請書
- 3-6-2. オープンアクセスリポジトリ推進協会入会申請書記入要領
- 3-7. オープンアクセスリポジトリ推進協会第1回総会議事次第（案）
- 3-8. 平成29年度以降のオープンアクセスリポジトリ推進協会の運営について
- 4-1. 平成28年度機関リポジトリ推進委員会予算（案）
- 4-2. 研修作業部会活動中間報告
- 4-3-1. JAIRO Cloud 運用作業部会活動中間報告
- 4-3. 2. オープンサイエンス対応状況および今後のオープンアクセス方針策定予定についての調査結果の公表について（御礼）
- 4-3-3. 国内学協会のオープンサイエンス対応状況調査報告書（概要）（案）
- 4-4. 広報作業部会活動中間報告
- 4-5. メタデータ検討タスクフォース活動中間報告
- 4-6. 研究データタスクフォース活動中間報告
- 4-7-1. 論文OAタスクフォース活動中間報告
- 4-7-2. オープンアクセスをめぐる動向と論文OAタスクフォースの活動
- 4-8. 指標・評価・メトリックタスクフォース活動中間報告
- 5-1. juni2改訂の基本方針（案）
- 5-2. juni2改訂案の検討内容（概要）
- 6-1. デジタルリポジトリ連合(DRF)からオープンアクセスリポジトリ推進協会への要望について
- 6-2. デジタルリポジトリ連合の活動の継承・発展について（要望）
- 6-3. デジタルリポジトリ連合の活動の継承・発展について（回答）（案）
- 7. 平成28年度第1回国立大学図書館協会オープンアクセス委員会議事次第

<参考>

- 1. オープンアクセスリポジトリ推進協会会則（案）
- 2. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程（案）
- 3. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程（案）

<机上配布>

- ・リポジトリの未来を考える：オープンサイエンス時代の到来を迎えて
- ・機関リポジトリ推進委員会規程

#### 4. 議事

(1) 第11回議事要旨及びメール審議結果確認

富田委員長より、資料1-1、及び1-2について説明があり、承認された。

(2) 第12回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（報告）

富田委員長より、資料2-1～2-3に基づき報告があった。同会議の開催が7月19日であったことから、参加意向機関数等、いずれもオープンアクセス推進協会設立総会前のもので報告をし、了解を得たとのことであった。

(3) オープンアクセスリポジトリ推進協会設立総会後の検討事項について（審議）

審議に先立ち、事務局・田口係長より、資料3-1～3-8について説明があった。資料No.3-2～3-4については、オープンアクセスリポジトリ推進協会設立総会で出された意見のうち、事務局預かりとなった部分を修正案として反映しているとの説明があった。資料No.3-5～No.3-8については設立総会で出された意見のうち、検討・議論が必要となる論点をまとめた資料であるとの説明があった。

1) 資料No.3-2 オープンアクセスリポジトリ推進協会会則の修正について

これに対し、次の意見があった。

- 修正案では、第2条第1項のコミュニティの定義が不明瞭であり、範囲を明確にした方がよい。
- 修正案では、「機関リポジトリを通じた大学の知の発信システムの構築を推進し」とあるが、オープンアクセスリポジトリ推進協会では、リポジトリを「機関」に縛らないようにしたはずである。
- オープンアクセスリポジトリ推進協会の参加機関は大学以外の機関もあるので、「大学」も不要なのではないか。

審議の結果、「大学」、「機関」を削除し、コミュニティの範囲を「リポジトリコミュニティ」と範囲を明確する方針で合意がなされ、第2条第1項については、次のように修正することとなった

第2条 協会は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的とする。

- 第2条第1項の「機関リポジトリ」から「機関」を削除したことにより、第3条第2項の定義も不要となるため、削除することが承認された。
- 第2条第2項については、修正案の通りに修正することが承認された。
- 第5条4号については、修正案の通りに修正することが承認された。

2) 資料No.3-3 JPCOAR 運営委員会規程の修正について

- 第3条については、審議の結果、現行のままとすることが承認された。

3) 資料 No. 3-4 オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程の修正について

- 別紙 1、及び別紙 2 について、修正案の通りに修正することが承認された。

4) 資料 No. 3-5-1～No. 3-5-2 オープンアクセスリポジトリ推進協会の運用に関する検討事項

- 構成員数の算定、及び構成数確認調査については、事務局案の通りに進めることで承認された。
- 請求書の発行については、JAIRO Cloud を利用しない機関もあることから、原則として、協会の基本会費と JAIRO Cloud 利用料金とを分けて請求する。また、このことについては早めに通知を行い、請求書を発行する NII で所内の担当部署と調整を行うこととする。

※ 第 12 回機関リポジトリ推進委員会終了後、決定事項をもとに、請求書の発行について NII 担当部署との調整の結果、担当部署から協会の基本会費と JAIRO Cloud 利用料金は、請求書類の内訳に基本会費と利用料金の内容を記載しまとめて請求したいとの要望があった。このことについて、メールでの審議を行った結果、まとめて請求することが承認された。

- 通常総会での会計監査報告については、事務局案の通りに進めることで承認された。
- JAIRO Cloud の申請単位については、共同リポジトリや機構単位での申請について、将来的な課題であることは予測されるが、現時点では、事務局案の通りに運用することで承認された。

5) JPCOAR 入会申請書について

事務局・田口係長より、資料 3-6-1 及び 3-6-2 に基づき説明があった。

このことについて、次の意見があった。

- 参加資格については、一つだけ選択するようにする。例えば、国公立大学図書館の各協議会等に所属している場合には、それぞれの協会（協議会）を選択する。その他の機関で、JAIRO Cloud 利用機関であれば、国立情報学研究所共用リポジトリサービスを利用する機関のリポジトリ担当部局を選択する。全てに該当しない場合には、その他、協会の目的に賛同する大学図書館等の施設を選択する。
- 提案された入会申請書には、JAIRO Cloud の利用について質問している項目がないので、利用機関かどうかを尋ねる項目を別途設ける。
- 同一法人内機関の項目を削除し、備考欄で対応する。

以上を反映した入会申請書の修正案を作成し、メールにて審議することとなった。

6) オープンアクセスリポジトリ推進協会第 1 回総会議事次第（案）について

富田委員長より、資料 3-7 に基づき説明があった。

このことに対する意見は次のとおり。

- オープンアクセスリポジトリ推進協会が何をしているのか、何の役に立つのか、が伝わるようにしたい。運営委員会、作業部会・タスクフォースの報告、質疑応用に時間をかけた方がよい。

- 第1回総会の出席者は、議決などが発生することから、業務担当者というよりは各機関の管理職と予想される。そのため、作業部会・タスクフォースの報告は、丁寧に行い、作業部会に人的支援をはじめ積極的に関与してもらうよう各機関の管理職に活動を十分に理解してもらう。
- 各作業部会・タスクフォースには、3月8日の第1回総会に間に合うように、今年度の活動の総括及び資料作成を依頼する。

これらの意見から、第1回総会では、各種審議事項や作業部会、タスクフォースの活動報告を十分に行う時間を確保するため、基調講演は行わないこととなった。

#### 7) 平成29年度以降のオープンアクセスリポジトリ推進協会の運営について

富田委員長より、資料3-8に基づき説明があった。

- 機関リポジトリ推進委員会からオープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会への移行については、事務局案の通りに進めることで承認された。
- オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会の選出方法については、事務局案の通りに進めることで承認された。
- オープンアクセスリポジトリ推進協会の事業計画案、予算案については、事務局案の通りに進めることで承認された。
- 作業部会・タスクフォースの活動計画と予算案については、事務局案の通り、作業部会、タスクフォースの主査、副主査で別途、検討会議を開催することが承認された。

#### (4) 作業部会・タスクフォースの中間報告について（報告）

##### 1) 平成28年度予算案

富田委員長より、資料4-1に基づき報告があった。

##### 2) 研修作業部会

主査である山本委員が欠席の為、事務局・田口係長より、資料4-2に基づき報告があった。

##### 3) 運用作業部会

江川主査より、資料4-1～4-3に基づき報告があった。

- JAIRO Cloudへの移行サポート勉強会を、12月～1月に実施することを予定している。
- 現在、筑波大学で運用しているSCPJ(Society Copyright Policies in Japan)について、JPCOARの事業として引き継ぐことを考えている。なお、NIIからは、想定されているサーバーは運用終了予定のため提供は困難との回答があったため、引き続き検討が必要である。
- 昨年度実施した「学協会に対するオープンサイエンス対応状況等についての調査」について、協力を頂いた学協会に対し、調査結果の概要を機関リポジトリ推進委員会委員長名で送りたいと考えている。
- なお、このことについては、富田委員長より問題ない旨、了承された。また、発送作業は事

務局にて行うこととなった。

#### 4) 広報作業部会

富田委員長より、資料 4-4、及び机上配布資料（「リポジトリの未来を考える：オープンサイエンス時代の到来を迎えて」）に基づき、報告があった。

- JPCOAR ウェブサイトについて、早々にリニューアルし、会員募集時に連動させられるように準備をしたいと考えている。

#### 5) メタデータ検討タスクフォース

高橋委員より、資料 4-5、及び資料 5-1～5-2 に基づき報告があった。

- 現在、junii2 の改訂に向けて作業をしている。junii2 の改訂案については、図書館総合展で発表し、パブリックコメントを求めることを予定している。
- なお、junii2 の改訂に向け、「junii2 改訂の基本方針（案）」について審議をお願いしたい。

審議の結果、「junii2 改訂の基本方針（案）」について承認された。

#### 6) 研究データタスクフォース

尾城委員より、資料 4-6 に基づき、報告があった。

- RDM トレーニングツールについては、11 月の図書館総合展で、まとまった形のものをお見せできると思う。12 月に京都で行われる大学 ICT 推進協議会（AXIES）の総会でも発表予定である。
- 完成後は MOOC での公開を予定している。来年度以降は、これを活用するような活動に移っていききたい。

#### 7) 論文 OA タスクフォース

高橋委員より、資料 4-7-1～4-7-2 に基づき報告があった。

- 資料 4-7-2 については、今回論文 OA タスクフォースでのグランドデザインを考えたが、本来であればオープンアクセスリポジトリ推進協会全体のグランドデザインが必要である。

#### 8) 指標・評価・メトリクスタスクフォース

森委員より、資料 4-8 に基づき報告があった。

- 昨年度に開発を行った IRDB コンテンツランキングシステムの公開に向け検証等を行っている。
- JAIRO Cloud のアクセス統計提供サービスについては開発を行うかどうかの必要性を十分に検討している段階である。

#### (5) junii2 改訂の基本方針（案）について（審議）

原案の通り承認された。

#### (6) デジタルリポジトリ連合(DRF)からオープンアクセスリポジトリ推進協会への要望について（意見

交換)

富田委員長より、資料6-1～6-3に基づき説明があった。

- 回答については、オープンアクセスリポジトリ推進協会会長名で行うため、回答案について会長館である早稲田大学に事前に説明を行う。

(7) その他

富田委員長より、資料7に基づき報告があった。

また、以下の点について決定された。

- 資料No. 4-1「機関リポジトリ推進委員会予算案」については確定とする。
- オープンアクセスリポジトリ推進協会会長館（早稲田大学）には、今回の委員会の結果を報告するとともに、次回委員会からはオブザーバーでの出席を依頼する。
- 次回の機関リポジトリ推進委員会は、平成29年1月開催を予定している。

以上